

## 令和 5 年度 第 2 回 静岡県立静岡城北高等学校 運営協議会

日時 令和 5 年 11 月 4 日 (土)

### 出席者

#### 学校運営協議会委員

大高千尋 (同窓会関係者)

河原正哉 (企業関係者)

北川展裕 (P T A ・ 後援会関係者)

小池理恵 (学識経験者)

杉山 誠 (地域関係者)

江原美紀 (後援会副会長)

#### 静岡城北高等学校

校長 吉永卓志

副校長 石原 忍

教頭 山田光俊

事務長 大坪淳子

### 《次第》

#### 1 開会

#### 2 会長挨拶 (北川会長)

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。例年になく気温の高い日が続いています。また、インフルエンザの流行もあり心配されるところです。本日は、授業見学、学校の概況報告、探究活動についての意見交換等を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 3 校長挨拶

本日はお忙しい中、お集まりくださいまして、ありがとうございます。

11月7日(火)に創立120周年記念行事が行われ、後援会、同窓会の支援により記念品のクリアファイルを作成し配布します。フルーティストの古川はるな様の講演を行い、グローバル教育と関連して、カンボジアでの子供たちへの支援について話をいただきます。講演の中で、吹奏楽部員と一緒に演奏も行っていただきます。静岡城北高校の卒業生であるお母さまもピアノ伴奏と一緒に演奏していただきます。記念行事に向けて生徒たちも校歌を一生懸命練習しています。創立120周年記念行事は、「つながる城北」をテーマに、過去から現在、現在から未来へという「時間」のつながり、そして「城北スマイルプロジェクト」を通じた地域との関わり、またグローバル科を中心とした世界との関わりという「空間」のつながりを表しています。

スライドによる静岡城北高校の歴史紹介

#### 4 授業見学

#### 5 学校の概況（山田教頭）資料による説明。

- (1) 概況（新聞記事紹介）
- (2) 部活動結果（6～10月）

#### 6 意見交換（概況説明を受けて）

##### 大高委員

3年生がこの時期一生懸命勉強していてほっとした。廊下に探究活動に関連した新聞記事が掲示されていてよい。

##### 河原委員

新聞記事の多くが、社会貢献活動や地域のつながりに関連するものであり、生徒たちが一生懸命取り組む成果が出ている。

##### 小池委員

ネイティブ教員の配置について質問

##### 校長

県内で5人採用されているネイティブ教員のうちシンガポール出身の1人が本校に所属している。英語科等が設置されている県立の4校、吉原高校、静岡城北高校、浜松湖南高校、浜松北高校及び、金谷高校（令和6年ふじのくに国際高校）に配属されています。ふじのくに国際高校は令和6年に3部制による定時制高校として開校し、国が全国200校の設置を目指している、国際バカロレア教育の令和8年度導入を目指して準備中です。

##### 杉山委員

生徒は真面目に授業を受けていて、先生方もやりやすいのではないかと。城北高校を取り上げる新聞記事を楽しみにしている。

##### 江原委員

生徒はおとなしく静かですが、双方向の授業があまり見られなかった。質問が自由にできる雰囲気での授業が普通になるとよい。部活動など勉強以外での活躍の場があるとよい。例えば、ダンス部、eスポーツ部、ボードゲーム（囲碁将棋）部などがあるとよい。

##### 北川委員

6年前に子供が在籍していた当時と違って、コロナ禍では活動に制約があった。今は地域とのつながりなど、自分で考えて行動する活動が活発になってきている。廊下に地域防災に関する掲示（災害が起こったらどうする？）があり、学校と地域のつながりをありがたく感じている。

##### 江原委員

社会人マナー講座はとてもよい。挨拶や電話対応ができなく、言われる前に動けない新入社員がいる。年に1～2回は実施してほしい。

##### 河原委員

学校を出てもマナーができていない。日本電信電話ユーザ協会の電話対応コンクールも参考にし

てほしい。

## 7 探究活動について（山田教頭）資料による説明・質問

### (1) 城北スマイルプロジェクト（総合的な探究の時間）

### (2) 探究活動テーマ

- ・どのような社会的課題に高校生が解決に取り組むべきだと考えますか？
- ・生徒が地域課題に関与する機会や興味を引く方法は何だと思えますか？
- ・地域の他の組織や団体と連携するための方法について、どのようなアイディアがありますか？

## 8 意見交換（探究活動について）

### 江原委員

役所の各課の名称がそのまま地域課題を示しているのので、参考にするとよい。例えば、コンビニで外国人を多く見かけたときに、移民が入ってきたときに必要なものは何か（ごみ捨てなど）を、生徒が考えられるようになるとよい。

### 河原委員

設定したテーマを探究する活動を、なぜ行うのかを理解し、社会的課題を知ってもらうことが大切である。マナーを含め、世の中のことをもっと知るべきである。実際に見聞きする機会を多く設定してほしい。地域の企業の方を招いて、現在の職業につながる高校時代の経験や、その職業に就いた目的や理由など様々な話を聞く機会があるとよい。考える材料を提供すれば、あとは自然に探究していくだろう。

### 校長

探究活動では、自ら課題を見つけて、解決策を考え、表現する活動を行う。小さな課題を探究することで、より大きな課題の発見につながる。多くの生徒は大学進学を目指すのが、その先の社会について学ぶ機会が少ない。

### 大高委員

バスの乗り方を知らなかったり、ニュースを知らなかったりする生徒もいる。課題を見つけるためにも、自らの足で稼いでほしい。災害時の危険箇所も実際に地域を歩くことで発見できる。体験が少ない中でも課題を発見するために、保護者の方や商工会の方の話から、自ら発見してほしい。附属中学の生徒は、エスカレーターについて調べるために、実際にセノバに出かけて調査を行った。

### 杉山委員

地域にとって、高齢化が課題であり、自治会や町内会の運営ができなくなっている。災害弱者の確認や救助、消火活動などで、高校生の力が求められる。高校生の防災訓練への参加を後押しできないか。

### 副校長

高校生の企業訪問について質問

### 河原委員

歓迎する。

江原委員

静岡大学教育学部附属静岡中学では、生徒自身が訪問のアポ取りを行う。失敗をたくさんさせている。

大高委員

中学生の職業体験では、挨拶ができずに叱られるが、上手に挨拶ができるようになった。

校長

大学に入学してくる学生で、探究活動を行ってきた学生とそうでない学生に違いはあるか？

小池委員

管理された中での勉強であっても、雲泥の差がある。120周年記念行事のテーマ「つながる城北」の時間のつながりと地域や世界とのつながり、は素晴らしい。探究活動を通して、自分の研究シード（種）を見つけている。

## 7 閉会